令和７年度　基本評価調書	所管部局	総合政策部	所管課	国際課

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	0213
政策の柱	グローバル化	政策体系コード	3(2)A
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策	事務事業数	2
特定分野別計画	北海道グローバル戦略、北海道教育大綱		
SDGs		総合判定	順調

予算額（千円）	R5	31,968千円	R6	34,363千円	R7	37,199千円

施策目標	グローバルな視点を持って本道の地域活性化に貢献する人材の育成に向け、ほっかいどう未来チャレンジ基金を活用した、大学生や社会人の海外における自らの資質向上に向けた挑戦への支援を推進する。
現状と課題	（若者の海外留学への支援） ・地域の国際化をけん引する人材を育成するため、海外への留学や研修などを通じ、未来を担う若者に国際社会への理解促進や、海外でのスキルの習得を図る機会を提供することが重要である。 （安定的な支援体制の構築） ・グローバル人材の育成を図るため、制度の趣旨に賛同し、若者の海外留学や実践活動を応援いただける企業や個人の裾野を拡げる必要がある。

<主な取組>

今年度の取組	（若者の海外留学への支援） ・「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を活用し、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人等を目指して海外での資質向上に取り組む挑戦を支援する。 （安定的な支援体制の構築） ・ほっかいどう未来チャレンジ応援事業を継続していくため、本事業の趣旨を道内外の企業や個人の皆様に理解いただき、訪問により寄附の協力を依頼するほか、企業等と連携した取組を行うなど、本事業に必要となる財源の確保に努める。
実績と成果	（若者の海外留学への支援） ・グローバル人材の育成に向け、令和7年度助成対象者の募集・審査を実施し、海外で学び北海道に貢献しようとする9名の若者を選抜した。（R5:8名、R6:11名、R7:9名） （安定的な支援体制の構築） ・企業等へ個別訪問や企業との連携によるみらチャレのロゴを入れた商品の販売などの取り組みを実施。 ・留学を予定する基金生の壮行会（R7.7月）を実施することにより、本事業に必要な財源の確保や北海道の若者の人材育成を支援する企業・団体等の輪を拡げることができた。

参考HP①	第７期生の紹介・活動報告	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/201129.html
参考HP②	基金生の帰国後の活動	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/kikokugo.html
参考HP③		

令和７年度　基本評価調書	【3(2)A_0213】グローバル人材等の育成

<指標分析>　*成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
「ほっかいどう未来チャレンジ基金」による助成者数			人	R5年度	R6年度	R7年度	R11年度	100.0%	A（100%以上）
			目標値	46	55	61	97		
			実績値	41	52	61			

設定理由 *要件(1)(2)*	基金を活用し、海外に挑戦する若者の増加に向けた取組状況を図る指標であり、課題である北海道に貢献する人材育成の取組の成果を測る指標として設定		
公表時期	毎年、基本評価調書で公表	根拠計画等 *要件(3)*	北海道創生総合戦略

分析（主な取組と成果）

コロナ禍における海外留学先の入国制限などの影響により、R5、R6年度は想定していた目標値に達することができていなかったが、その後、本事業の広報活動により周知が図られたこと等から、R7年度は堅調に推移している。

成果指標②	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
「ほっかいどう未来チャレンジ基金」応援パートナー・応援サポーター数			者	R4年度	R5年度	R6年度	R10年度	148.7%	A（100%以上）
			目標値	107	112	117	200		
			実績値	146	161	174			

設定理由 *要件(1)(2)*	基金への支援企業等の増加に向けた取組状況を測る指標であり、課題である事業の推進に必要な資金確保の取組の成果を測る指標として設定		
公表時期	毎年、基本評価調書で公表	根拠計画等 *要件(3)*	北海道創生総合戦略

分析（主な取組と成果）

企業への支援の呼び掛けや帰国後の基金生の活動の周知などにより、基金の趣旨に賛同する企業や団体、個人などの支援者数は堅調に推移している。

成果指標③	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標④	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標⑤	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

令和７年度　基本評価調書	【3(2)A_0213】グローバル人材等の育成

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） ・若者の海外留学を支援し、グローバル人材を育成・確保していくためには、対象者となる若者へ広く応募を呼び掛ける必要がある。 ・基金を維持し継続的に運営していくためにも、基金を応援していただいている企業・団体や道民の皆様の輪を広げていく必要がある。 （取組と成果） ・教育機関や支援企業に応募者募集のポスター、チラシを送付し、学内や店舗等で周知していただいたほか、道内大学での留学説明会や、対面・オンライン併用で海外留学セミナーを開催するなど、効果的な事業PRを行うことができた。 ・基金の趣旨に賛同した企業と連携しながら、商品や店舗と連携した取組を行うなど道民なども参加しやすいタイアップ事業に取り組むことにより、基金に対する応援の裾野を広げることができた。
緊急性・優先性	（課題） 円安や世界的な物価高騰に伴い、留学に必要な費用（学費、生活費など）が高騰している中、留学を促進しグローバル人材の育成・確保するための取組が必要。 （取組と成果） ・R7年度の募集要項を改正し、留学期間の緩和や、渡航費の一時的な増額で円安に対応するなど、応募しやすい環境づくりに努めた。また、「海外留学セミナー」（2月7日）を開催し制度周知に努めるとともに、4月から令和7年度助成対象者の募集及び審査を実施した。

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
	R5年度	R6年度	R7年度
「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の応募者数	16	21	22

（課題）

コロナ禍における海外留学先の入国制限などの影響がなくなったこと等から、学生からの応募は堅調に推移している一方、学生以外からの応募が少ない。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
渡航費の一時的な増額で円安に対応するなど、応募しやすい環境づくりを行った結果、応募者は堅調に推移している。 引き続き「海外留学セミナー」を開催するほか、学生以外の応募増に向けて周知方法を検討し、幅広い層の若者の海外留学を促す。	a

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度

（課題）

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

（課題）

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定

令和７年度　基本評価調書	【3(2)A_0213】グローバル人材等の育成

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	a		

■判定が「D」の成果指標
（該当なし）

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	グローバルな視点を持って本道の地域活性化に貢献する人材の育成に向け、引き続き、教育機関などとの連携や、企業等の協力を頂きながら、若者の海外留学を支援していく。
	②	
	③	

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	

前年度の二次政策評価意見（区分）

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	未来の北海道を担う人材の育成を図るため、本事業を広く周知し、海外留学やスポーツ指導者、芸術家、職人等を目指し、海外で知識・技術などの向上に挑戦する若者の応募増を図る。 また、基金の安定的な運用に向けて、本事業の趣旨や留学の成果を積極的にＰＲし、寄附金の確保を図る。
	②	
	③	

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	0213

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
1427		一般	北海道未来人財応援事業費	本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」により支援する。	国際課	0	36,898	3,218	1.0	0.4	1.4	48,343	①	改善（取組分析）			改善
1428		一般	北海道未来人財応援基金運営費	ほっかいどう未来チャレンジ基金の継続的、安定的な運営をするため、企業訪問による協賛協力要請の実施や、道内外個人の寄附利便性向上を図る。	国際課	0	301	301	1.0	0.4	1.4	11,746	①	改善（取組分析）			改善
計						0	37,199	3,519	2.0	0.8	2.8						